

教育の本質を問う

日本は落ちぶれたとはいえ恵まれた国であり、幸福な国であり、世界の人々から羨ましがられる国である。それはもちろん私たちの祖先の英雄の努力による。今はこれから二百年三百年後を考えて、子孫のため国のためによかれと命をかけて行動する第二の織田信長の登場が待たれる。

日本人に与えた最大の贈り物

週刊新潮をよく買う。かつては山本夏彦の写真コラム目当てで買った。今はザラ紙の最終ページに載っている高山正之の「変見自在」が目当てで買っている。

産経新聞記者当時、時事コラム「高山正之の異見自在」を執筆。当時から私はファンだったが、新聞社定年退職後、場所を変えて週刊新潮に「変見自在」を連載。私は追っかけファンの一人である。

氏は歯に衣着せぬ文章で物事の核心を突く。世界諸国を長年取材して培われた広い視野と歴史観、誰にも媚びない独自の主張はまさに変見自在。この一ページのためには四百円近い週刊誌を買うのが惜しくない。

「サダム・フセインは信長の生まれ変わり」（平成二十三年二月十日号）ではこう書く。「織田信長は生涯の半分を比叡山の僧兵や一向宗との争いに費やした。……塩野七生はこの狂信者の皆殺しを『信長が日本人に与えた最大の贈り物』と評価している。おかげで日本では宗教者が分をわきまえて、日本だけは宗教戦争から無縁で来られた」と

仏教勢力に壊滅的打撃を与えた信長の行為を「日本人に与えた最大の贈り物」と評する塩野七生の歴史観に心が洗われるが、その見

くなくなった。

太平安定の二八〇年間の江戸時代が送られたのも、明治以降の隆盛も、そして敗戦後、技術立国、経済大国として復興できたのも、信長が宗教勢力を撲滅してくれたおかげである。

高山正之は塩野七生の言を借りて、イラクのサダム・フセインがイスラム教の「師」たちを政界から追い出し、短期間でイラクを中東の強国にした信長型の政治家だと述べている。

世界の警察を任ずるアメリカは「出る杭」を叩き続けた。ソ連を討ち、田中角栄以後の日本を討ち、サダム・フセインのイラクを討

日教組が日本人を廃人にした

今の日本には強大な宗教勢力はない。しかしそれにかわる無気味な権力集団がある。日本人の知識教養人格を操作して「廃人」に仕立てあげようとする集団である。

昭和二十年（一九四五）、戦勝国アメリカの指導のもとに日本共産党が中心になって労働三法ができて、労働組合の結成が推奨された。その一環として公立学校の教職員（日教組）が誕生した。目的は民主主義教育の推進と教職員の地位、生活の向上。

この日教組という組織の活動が日本人に与えた影響と威力は、創価学会や立正佼成会など新興宗教が束になっても及ばない強烈なもの

経宮管理講座 287 染谷和巳

- ④ ゆとり教育の推進、授業時間を減らし教科の内容を薄くし下げた。
- ⑤ 差別反対の平等主義、テスト成績のランク付け公表をやめた。運動会の一等、二等をやめてみんな平等にした。
- ⑥ 男女差別反対、名簿は男女別ではなく混合にした。体育の更衣室を男女一緒にした。露骨な性教育をした。
- ⑦ 能力主義反対、全国学力テストに反対、その理由は自分の学校の成績が悪ければ教師の能力が低いことが明るみに出てしまうから。
- ⑧ 教員の勤務評定反対。
- ⑨ 教員の免許更新制度反対。教師不適格者を十年に一度ふるい落とすのが目的で考えられ、三十分間の講習を義務付けしたが、時間的負担を理由に反対。
- ⑩ 中間試験廃止。子供に負担が重いかという子供迎合策。
- ⑪ 国による教育統制反対。国は修身道徳教育を重視する方針から教材「心のノート」を作成した。
- ⑫ 選挙活動優先。授業を放り出して生徒を自習にさせておいて電話などで日教組候補者に投票依頼を行っている。
- ⑬ 反原発、脱原発教育推進。
- ⑭ 南京三十万人虐殺や百人斬りなどのウソを事実として教えている。
- ⑮ 生徒のしつけ放棄、生徒間のいじめを見て見ぬふりをする無責任。
- ⑯ サラリーマン教員。勤務時間出勤すれば教育指導の質などどうでもよいという労働者意識が強い。
- ⑰ 日教組の組員でなければ出世できない。教頭、校長、教育委員会委員という道は非組員には閉ざされた。当然、組員教師の子が優先して教師に採用され、組織が強化されている。
- ⑱ 日本よりも韓国や中国が好きで、代弁者となって日本を攻撃する。
- ⑲ 欠陥教師、ダメ教師の保護と隠蔽の場になっている。

誰がこの化け物を退治するか

私の中学の恩師も日教組に入っていた。それを聞くと「私は入ってただけで何もしなかったよ。日教組なんて何の力もなかったよ」と答えた。

地域によって強弱の差がある。北海道、山梨、大阪、広島、大分といった地域は組織が強く活動が過激だと聞いている。また区、市、町によっても活発なところとそうでないところがあるだろう。

ともあれ教育という場面で教師が子供に与える影響は大きい。国に対する誇りと祖先に対する敬意を教えることが任務の公務員教師が、全く反対のことを教え、反対の行動を子供に見せている。

現在の親の世代も日教組教師に教えられたから、この「異常」を異常と感じなくなっている。おそ